

公 共

設 計 図 書

(特記仕様書・位置図・工事数量総括表)

2026 年度施行

北伏古南7線橋長寿命化工事

芽室町

特 記 仕 様 書

特記仕様書

- 20 一般事項
- 01 適用
- 01 共通仕様書

当該工事は、『北海道建設部土木工事共通仕様書』（以下「土木工事共通仕様書」という。）に基づき施工すること。

- 02 土木工事積算基準等

- 1 当該工事の設計図書は、北海道建設部が制定した次の積算基準等に基づき作成している。
 - (1) 一般土木工事
「土木工事積算要領」、「土木工事積算基準」、「土木工事工種体系化の手引き」
 - (2) 漁港工事
「漁港関係工事積算基準」、「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
 - (3) 下水道工事
「土木工事積算要領（下水道編）」、「土木工事積算基準」、「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
- 2 「土木工事積算基準」及び「漁港関係工事積算基準」において定めている諸基準に基づき次のとおり扱っている。
 - (1) 機械施工と人力施工等の施工方法や区分は設計図面等から判断し、機械施工が困難である場合を除き、機械施工を標準として積算している。
 - (2) 特記仕様書等で別途明示している場合を除き、各基準において定めている標準工法・標準機種で積算している。
 - (3) 上記（1）（2）については、受注者の任意施工を拘束するものではない。
ただし、現場条件等がこれにより難しい場合には、必要に応じて設計変更する。
- 3 「土木工事工種体系化の手引き」、「漁港関係工事工種体系化の手引き」及び「下水道工事工種体系化の手引き」において定めている事項を、設計図書の規格・摘要欄に明示しているが現場条件等に差異が生じた場合には、設計変更の対象とする。
- 4 当該工事の数量算出書は、北海道建設部が制定した次の土木工事数量算出要領等に基づき作成している。
 - (1) 一般土木工事
「土木工事数量算出要領」
 - (2) 漁港工事
「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
 - (3) 下水道工事
「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」

特記仕様書

- 5 本設計図書は、北海道建設部が制定した「北海道建設部営繕工事積算要領」に基づき作成している。
- 6 特記仕様書に記載されていない事項について
図面(工事数量総括表を含む)及び、この特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 令和7年版(各工事編)」(以下「標準仕様書」という。)、 「公共建築改修工事標準仕様書 令和7年版(各工事編)」(以下「改修標準仕様書」という。)、 「建築物解体工事共通仕様書 令和4年版」(以下「解体共通仕様書」という。)及び、「北海道建設部土木工事共通仕様書(令和6年10月版)」による。

03 概数

- 1 「概数として扱う数量一覧表」に示した数量は概数である。概数として扱う事項の施工に当たっては、施工後でなければ数量の確認ができない場合を除き、現地調査終了後速やかに工事監督員と協議し、数量の確定を行い着手すること。
- 2 概数の確定により数量の変更が生じた場合には、設計変更により処理する。
なお、設計に対して過大な出来形数量に変更するものではないことに留意すること。
- 3 「概数として扱う数量一覧表」で示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、取り合い等によって新たに必要となる項目についても概数として扱う場合がある。
- 4 当該工事において、設計変更図書の作成(設計変更図面の作成及び工事数量の算出)を受注者に行わせることがある。

06 現場環境改善(選択)土木一般

- 1 現場環境改善は、周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施することを目的とする。
- 2 現場環境改善の実施内容は、各費目(仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携)のうち合計5項目を基本として次の項目から選択すること。
なお、具体的な実施内容や実施時期については、施工計画書を提出する時に工事監督員と協議すること。
 - (1) 仮設備関係
 - (1) 用水・電力等の供給設備の充実

特記仕様書

- (2) 緑化・花壇
- (3) ライトアップ施設
- (4) 見学路及び椅子の設置
- (5) 昇降設備の充実
- (6) 環境負荷の低減
- (2) 営繕関係
 - (1) 現場事務所・監督詰所の快適化
 - (2) 労働者宿舍の快適化
 - (3) デザインボックス（交通誘導警備員待機室）の快適化
 - (4) 現場休憩所の快適化
 - (5) 健康関連設備及び厚生施設の充実等
- (3) 安全関係
 - (1) 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）
 - (2) 盗難防止対策（警報機等）
- (4) 地域連携
 - (1) 完成予想図
 - (2) 工法説明図
 - (3) 工事工程表
 - (4) デザイン工事看板（各工事PR看板含む）
 - (5) 見学会等の開催（イベント等の実施含む）
 - (6) 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営
 - (7) パンフレット・工法説明ビデオ
 - (8) 地域対策費等（地域行事等の経費を含む）
 - (9) 社会貢献

3 工事完了時には、現場環境改善の実施状況が確認できる写真を提出すること。

21 工程関係

01 工期設定

01 工期設定について

工期：令和8年6月1日から令和9年2月1日まで（246日）

特記仕様書

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

①準備期間：60日間

②後片付け期間：20日間

③雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業が出来ない日数を見込むための係数 実働日数×係数）：1.67

15 完全週休2日（土日）及び月単位の週休2日工事

01 完全週休2日（土日）及び月単位の週休2日工事【現場閉所】の実施について【土木工事】【空港工事】

1. 本工事は、完全週休2日（土日）及び月単位の「週休2日工事」の対象工事である。
2. 受注者が完全週休2日（土日）及び月単位の週休2日の施工を行う希望がある場合、工事着手前に発注者に対して完全週休2日（土日）及び月単位の週休2日に取り組む旨の協議を行い、協議が整った場合に完全週休2日（土日）及び月単位の週休2日での施工を行う工事である。なお、月単位の週休2日が達成できない場合においても通期の週休2日による施工を行わなければならない。
3. 完全週休2日（土日）とは、対象期間内の全ての週において、土日に現場閉所されている状態をいう。
月単位の週休2日とは、対象期間の全ての月において、土日・祝日に関わらず、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状況をいう。
対象期間は、契約期間内において工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間及び夏期休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは対象期間に含まない。工事契約後、週休2日対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。
4. 現場閉所とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。
5. 完全週休2日（土日）とは、対象期間の全ての週において、現場閉所を土日に指定し、1週間に2日以上現場閉所を行ったと認められる状態をいう。なお、土日に加えて、受注者自らが土日以外にも現場閉所することは可能とする。ただし、受注者の責によらず土日に施工を行わざるを得ない場合は、土日に代わる現場閉所日を指定するものとする。
月単位の4週8休とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」）が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に閉所を行っている場合に、4週8休（28.5%）以上を達成しているものとみなす。
通期の4週8休とは、対象期間内の現場閉所率が、28.5%（8日/28日）の水準の状態をいう。
6. 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
7. 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。

特記仕様書

- 1) 受注者は、週休2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。
- 2) 受注者は、実施結果を発注者へ報告する。
8. 週休2日の実施状況について、発注者が必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。
9. 現場の閉所状況に応じて、以下の補正係数を、労務費、共通仮設費率、現場管理費率に乗じる。市場単価方式についても、現場の閉所状況に応じて補正係数を乗じるものとする。ただし、土木工事標準積算基準書（共通編）第VI編第II章市場単価に掲載されている工種のみ補正対象とする。なお、その他労務費分が明らかとなっていない単価等については、補正の対象としない。
 - 1) 現場の閉所状況
上記5に示した現場の閉所状況を達成した場合。
 - 2) 補正方法
当初予定価格では、月単位の4週8休の補正係数を各経費に乗じている。
休日率の達成状況を確認後、完全週休2日を達成した場合は、完全週休2日（土日）の補正係数に設計変更をする。
なお、月単位の4週8休に満たないものについては、補正を減ずる設計変更をする。
ただし、週休2日工事実施要領においては、工事着工前に取組を協議することとしており、設計変更の可否は、その協議により定めた取組内容（「完全週休2日」、「月単位の週休2日」、「通期の週休2日」）に対して判断する。
よって、結果的に履行状況が、当初協議した取組内容を上回る場合であっても、それに係る経費の補正は行わない。

【補正係数】

完全週休2日（土日）

- ・ 労務費 1. 0 2
- ・ 共通仮設費率 1. 0 2
- ・ 現場管理費率 1. 0 3

4週8休以上（月単位）

- ・ 労務費 1. 0 2
- ・ 共通仮設費率 1. 0 1
- ・ 現場管理費率 1. 0 2

- 1 0. 「週休2日工事」について、受注者を対象としたアンケート調査に協力するものとする。
- 1 1. 週休2日の実施計画書提出後、当該工事の全体工期については、影響はでないものの、一部の施工内容・箇所に変更があり、工期内の期限を設ける必要がある場合は、対象期間外と出来る場合があるので、受発注者間協議を行うこと。

22 用地関係
01 用地の使用許可等

特記仕様書

03 土地所有者との協議

当該工事については、北海道十勝総合振興局より河川一時占用を許可されており、令和8年3月2日から令和9年1月31日までの占用期間となっている。

24 安全対策関係

01 交通安全施設の指定

05 通行規制の安全施設

当該工事の施工にあたっては、地元協議により全面通行止めでの施工を予定している。通行止め期間は令和8年7月上旬から令和9年1月上旬を予定しており、施工に伴う通行規制の規制標識等を設置し、一般交通等に支障がないよう安全対策を講じること。

27 建設副産物・廃棄物関係

03 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律

01 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律

この工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号、以下「建設リサイクル法」という）」に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

05 副産物・廃棄物の処理条件

03 建設副産物の処理条件

当該工事の施工により発生する建設副産物の処理については、次のとおりとするが、受注者において適正な処理施設を選定し、施工計画書に建設副産物における適正処理計画について記載すること。また、処分場所については積算上の条件明示であり、処分場所を指定するものではない。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、必要な資料を提出の上、工事監督員と協議すること。

1 コンクリート殻

- (1) 処分場所 : 芽室町内（受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設を想定）
- (2) 運搬距離 : 片道運搬距離 11.6 km
- (3) 処理方法 : 再資源化
- (4) 受入条件 : 粒径 30 cm程度

特記仕様書

30 その他
12 策定歩掛
01 策定歩掛

当該工事の支承再設置施工・小規模塗装・床版排水パイプ設置・舗装版破碎（人力）・床版研掃（上面研磨）は、見積りによる策定歩掛で積算し

ている。このうち、歩掛の妥当性を確認する必要があると受注者が判断し、受注者が試験施工を希望する場合は、次のとおり試験施工を実施する

ものとする。

1 試験施工

○支承再設置施工の施工については、受注者が希望する場合は、着手前に工事監督員立会のうえ、試験施工を行うこと。

なお、試験施工による確認事項は、次のとおりである。

（１）施工量 : 1箇所

（２）施工日数 : 1.8日

（３）作業人員 : 橋梁世話役1.8人工、橋梁特殊工5.3人工、特殊作業員2.5人工、普通作業員1.7人工（8時間換算日数）

また、試験施工の結果に伴う設計変更については、別途協議する。

○小規模塗装の施工については、受注者が希望する場合は、着手前に工事監督員立会のうえ、試験施工を行うこと。

なお、試験施工による確認事項は、次のとおりである。

（１）施工量 : 2m²（素地調整・下塗・中塗・上塗）

（２）施工日数 : 1日

（３）作業人員 : 橋梁塗装工4人工（8時間換算日数）

また、試験施工の結果に伴う設計変更については、別途協議する。

○床版排水パイプ設置の施工については、受注者が希望する場合は、着手前に工事監督員立会のうえ、試験施工を行うこと。

なお、試験施工による確認事項は、次のとおりである。

（１）施工量 : 5.6本

（２）施工日数 : 1日

（３）作業人員 : 土木一般世話役1人工、特殊作業員1人工、普通作業員1人工、はつり工1人工（8時間換算日数）

また、試験施工の結果に伴う設計変更については、別途協議する。

特記仕様書

○コンクリート舗装版破碎（人力）の施工については、受注者が希望する場合は、着手前に工事監督員立会のうえ、試験施工を行うこと。

なお、試験施工による確認事項は、次のとおりである。

- (1) 施工量 : 51.7m²
- (2) 施工日数 : 1日
- (3) 作業人員 : 土木一般世話役1人工、特殊作業員3.3人工、普通作業員3人工（8時間換算日数）

また、試験施工の結果に伴う設計変更については、別途協議する。

○床版研掃（上面研磨）の施工については、受注者が希望する場合は、着手前に工事監督員立会のうえ、試験施工を行うこと。

なお、試験施工による確認事項は、次のとおりである。

- (1) 施工量 : 82.8m²
- (2) 施工日数 : 1日
- (3) 作業人員 : 土木一般世話役1人工、特殊作業員2.3人工、普通作業員3人工（8時間換算日数）

また、試験施工の結果に伴う設計変更については、別途協議する。

2 実績報告

○試験施工を行った場合は、設計変更の有無に関わらず、支承再設置施工全体での実績を報告すること。

- (1) 施工量 : 1箇所
- (2) 施工日数 : 1.8日
- (3) 作業人員 : 橋梁世話役1.8人工、橋梁特殊工5.3人工、特殊作業員2.5人工、普通作業員1.7人工（8時間換算日数）

○試験施工を行った場合は、設計変更の有無に関わらず、小規模塗装全体での実績を報告すること。

- (1) 施工量 : 2m²（素地調整・下塗・中塗・上塗）
- (2) 施工日数 : 1日
- (3) 作業人員 : 橋梁塗装工4人工（8時間換算日数）

○試験施工を行った場合は、設計変更の有無に関わらず、床版排水パイプ設置全体での実績を報告すること。

- (1) 施工量 : 5.6本
- (2) 施工日数 : 1日
- (3) 作業人員 : 土木一般世話役1人工、特殊作業員1人工、普通作業員1人工、はつり工1人工（8時間換算日数）

○試験施工を行った場合は、設計変更の有無に関わらず、コンクリート舗装版破碎（人力）全体での実績を報告すること。

- (1) 施工量 : 51.7m²

特記仕様書

- (2) 施工日数 : 1日
- (3) 作業人員 : 土木一般世話役1人工、特殊作業員3.3人工、普通作業員3人工 (8時間換算日数)

○試験施工を行った場合は、設計変更の有無に関わらず、床版研掃 (上面研磨) 全体での実績を報告すること。

- (1) 施工量 : 82.8m²
- (2) 施工日数 : 1日
- (3) 作業人員 : 土木一般世話役1人工、特殊作業員2.3人工、普通作業員3人工 (8時間換算日数)

- 14 塗膜の剥離等作業
- 02 塗膜に含まれる鉛化合物を、事前に委託業務で確認した場合

- 1) 既存構造物の塗膜には、有害物質のPCBと鉛化合物が含まれていることが確認されている。
そのため、塗膜の剥離等作業を行う際は、「鉛中毒予防規則」に基づき、「鉛作業主任者」を配置し、適切に作業すること。
- 2) PCBについては重量比1%を超えていないことから、「特定化学物質障害予防規則」の適用はないが作業中における河川や土壌への汚染がないよう考慮すること。
また、PCBが付着した鋼材をガス切断する際にもダイオキシンが発生する可能性があるため十分な飛散防止対策を講じること。

- 07 PCBを含む塗膜及び研削材の廃棄物の取扱い
- 1) 鉛・PCBを含む塗膜及び汚染物については、保管・運搬・処分について、「PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」等の適用となるので、当該現場における対応について監督員と協議すること。
- 2) 鉛・PCBを含む塗膜及び汚染物の処分については、芽室町での保管及び処分となるため重量を計測の上、指定の保管場所に保管すること。

- 18 その他
- 01 設計図書に明示のない取扱い

設計図書に定めのない事象が生じた場合は、工事監督員と別途協議をすることとし、必要に応じて設計変更を行う。

概数として扱う数量一覧表

	工事名	北伏古南7線橋長寿命化工事			当初	事業区分	道路維持・修繕
						工事区分	橋梁保全工事
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
橋梁保全工事		式		1			
構造物撤去工		式		1			
運搬処理工		式		1			
殻運搬	コンクリート殻(無筋)	m3		24		概数	
殻処分	コンクリート殻(無筋)	t		56		概数	
現場発成品処分	旧伸縮装置	t		2		概数	
仮設工		式		1			
環境対策工		式		1			
PCB対策物保管容器	ドラム缶200L	本		22		概数	
共通仮設費		式		1			
共通仮設費		式		1			
安全費		式		1			
電動ファン付き全面防毒マスク		個		6		概数	

位 置 図

位 置 図

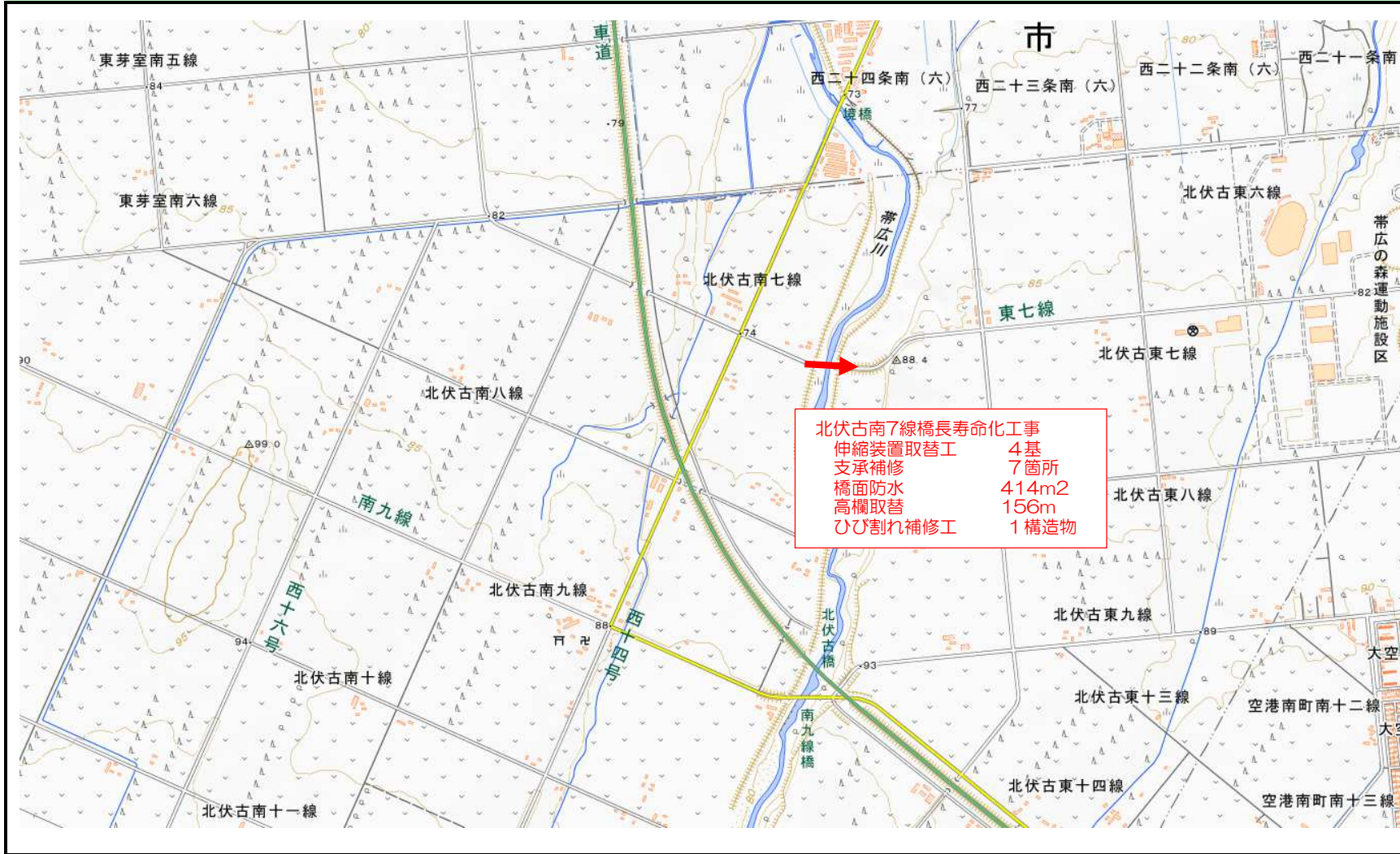
工事名	北伏古南7線橋長寿命化工事																													
施工箇所	芽室町 上伏古																													
範囲	起点	北緯	42	度	53	分	25.2	秒	東経	143	度	7	分	13.7	秒	終点	北緯	42	度	53	分	25.1	秒	東経	143	度	7	分	16.3	秒

※工事箇所の住所については施工起点の左側の住所としています。

※緯度経度については、世界測地系であり地理院地図を利用した簡易測定結果。



図面は上が北です



- <凡例>
- 旗揚線
 - 施工箇所 施工箇所
 - 施工箇所塗り (丸印が起点) ←
 - 建設副産物の仮置箇所 建設副産物の仮置場
 - 残土処理場箇所・仮置箇所 ○○場箇所
 - 土取場箇所・発生土受渡箇所 ○○場箇所
 - その他指定する箇所 (仮設ヤード等) ○○場箇所
 - 輸送起点等 ○○起点

- 表示情報 (表示している情報は■)
- 施工箇所・施工範囲
 - 建設副産物の仮置箇所
 - 残土処理場
 - 仮置場
 - 土取場
 - 発生土受渡箇所
 - 輸送起点箇所
 - その他

備考

工 事 数 量 総 括 表

工事名 北伏古南7線橋長寿命化工事

芽室町環境土木課

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
北伏古南7線橋長寿命化工事				(当初)	事業区分	道路維持・修繕		
					工事区分	橋梁保全工事		
橋梁保全工事		式		1				
舗装工		式		1				
橋面防水工		式		1				
橋面防水	塗膜防水	m ²		414		< 100 m ² 当たり > 塗膜系防水	m ²	100
						排水用導水管	m	38.21
						排水用導水管	m	8.37
						成型目地材	m	45.77
						アスファルト加熱注入目地材	kg	1.18
床版排水パイプ設置工	床版排水	箇所		34		< 1 箇所当たり > 床版排水パイプ設置工	本	1
						クワトロドレーン	本	1
						桁止めクリップ	組	1
水抜きパイプ	ルキフ ルチューブ	m		68		< 1 m当たり > ルキフ ル管	m	1
既設排水樹孔明	削孔径 20mm	孔		24		< 1 孔当たり > 現場孔明(鋼構造物)	本	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	道路維持・修繕 橋梁保全工事		
						概要		
						現場条件	単位	数量
工事名	北伏古南7線橋長寿命化工事			(当 初)	事業区分			
					工事区分			
舗装打換え工		式		1				
舗装版破碎(人力)	コンクリート舗装版5cm	m2		414		< 1 m2当たり > コンクリート舗装版破碎(人力)	m2	1
床版研掃(上面研磨)		m2		414		< 1 m2当たり > 床版研掃(上面研磨)	m ²	1
表層(車道・路肩部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満)細密粒度ギャップアスコン50mm3.0m超 【細密粒度ギャップアスファルト混合物 1 3 F 5 5 A s 量6.0~6.3% 樹脂入り 改質 型 車道用 】	m2		414		< 1 m2当たり > 表層(車道・路肩部)	m 2	1
区画線工		式		1				
区画線工		式		1				
ペイント式区画線	ペイント式 溶剤型破線 15cm常温	m		38		< 1 m当たり > 区画線設置	m	1
橋梁付属物工		式		1				
伸縮継手工		式		1				

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
鋼・ゴム製伸縮装置補修	既製品ジョイントの設置	m		25		< 1 m当たり > 橋りょう世話役 特殊作業員 普通作業員 クレーン装置付トラック 4 t級2.9 t吊 諸雑費	人 人 人 日 式	0.2 1.2 0.5 0.2 1
橋梁用伸縮継手装置	YHN-50	m		26		< 1 m当たり > 橋梁用伸縮継手装置	m	1
橋梁用伸縮継手装置 誘導板	YHN用290×45×22	枚		128		< 1 枚当たり > 橋梁用伸縮継手装置 誘導板	枚	1
橋梁用伸縮継手装置 シーリング材		本		5		< 1 本当たり > 橋梁用伸縮継手装置 シーリング材	本	1
コンクリート		m ³		2.8		< 1 m ³ 当たり > 生コンクリート	m ³	1
鉄筋工	SD345・D16	t		0.2		< 1 t当たり > 鉄筋工市場単価	t	1
地覆鉄筋	SD345・D13	t		0.01		< 1 t当たり > 鉄筋	t	1
差筋アンカー	D16用	本		432		< 1 本当たり > あと施工アンカー(材工共)	本	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
工事名	北伏古南7線橋長寿命化工事			(当初)	事業区分	道路維持・修繕		
					工事区分	橋梁保全工事		
差筋アンカー	D13用	本		16		< 1 本当たり > あと施工アンカー(材工共)	本	1
橋梁用高欄工		式		1				
はつり		m2		4		< 1 m2当たり > コンクリートはつり	m 2	1
コンクリートカッター		m		99		< 1 m当たり > はつり工事	m	1
無収縮モルタル工	既設防護柵部	m3		0.4		< 1 m3当たり > 無収縮モルタル工 無収縮モルタル	m3 m 3	1 1
高欄撤去		m		156		< 1 m当たり > 高欄撤去	m	1
橋梁用高欄	鋼製橋梁用高欄(組立式) 【高欄兼用車両用防護柵 鋼製 C種 横棧 丸 4本 亜鉛メ キ 柵高1000mm 1連30m以上 勾 配3%未満 支柱間隔 2.0m】	m		156		< 1 m当たり > 橋梁用高欄	m	1
コンクリート削孔	24×L130	箇所		172		< 1 箇所当たり > コンクリート削孔(電動ハンマドリル) ケミカルアンカー アンカー	孔 本 本	1 1 1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	道路維持・修繕 橋梁保全工事		
						概要		
						現場条件	単位	数量
コンクリート削孔	24×L245	箇所		172		< 1 箇所当たり > コンクリート削孔(電動ハンマドリル)	孔	1
						ケミカルアンカー	本	1
						アンカー	本	1
橋名板取付	【橋名板 取付け板 バンド式 550×200×4.5mm 亜鉛メッキ 】	枚		4		< 1 枚当たり > 橋名板等取付	枚	1
						橋名板	枚	1
橋梁補修工		式		1				
沓座拡幅工		式		1				
チッピング(厚2cm以下)		m ²		4		< 1 m ² 当たり > チッピング(厚2cm以下)	m ²	1
コンクリート削孔		孔		48		< 1 孔当たり > コンクリート削孔(電動式コアボーリングマシン)	孔	1
アンカー筋挿入		本		48		< 1 本当たり > アンカー筋挿入(コンクリート沓座拡幅)	本	1
樹脂注入	エポキシ樹脂系	kg		7.3		< 1 kg当たり > 注入材	kg	1
鉄筋		t		0.3		< 1 t当たり > 鉄筋(沓座拡幅工)	t	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	道路維持・修繕 橋梁保全工事		
						概要		
						現場条件	単位	数量
型枠		m 2		9		< 1 m 2 当たり > 型枠 (沓座拡幅工)	m 2	1
コンクリート	A1橋台・P1橋脚 【生コンクリート 混合B種 RC-2-1 24-12-40 C=280 】	m 3		2.2		< 1 m 3 当たり > コンクリート (沓座拡幅工)	m 3	1
支承補修工(丸外打替) TYPE-1		式		1				
沓座コンクリートはつり		m3		0.1		< 1 m3 当たり > 沓座コンクリートはつり (支承直下部以外)	m 3	1
型枠		m2		0.5		< 1 m2 当たり > 型枠	m 2	1
無収縮モルタル工	極小規模	m3		0.1		< 0.1 m3 当たり > 土木一般世話役 特殊作業員 普通作業員 諸雑費	人 人 人 式	0.5 1.5 1 1
無収縮モルタル		m3		0.1		< 1 m3 当たり > 無収縮モルタル	m 3	1
鉄筋工		t		0.01		< 1 t 当たり > 鉄筋工市場単価	t	1
あと施工アンカー	D13	本		16		< 1 本 当たり > あと施工アンカー (材工共)	本	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	道路維持・修繕 橋梁保全工事		
						概要		
						現場条件	単位	数量
工事名 北伏古南7線橋長寿命化工事				(当初)	事業区分			
					工事区分			
工 事 区 分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規 格	単 位	数 量 (前 回)	数 量 (今 回)	数 量 の 増 減	概 要		
支 承 補 修 工 (支 承 再 設 置) T YPE-2		式		1				
支 承 再 設 置		基		3		< 1 基当たり > 橋りょう世話役	人	1.8
						橋りょう特殊工	人	5.3
						特殊作業員	人	2.5
						普通作業員	人	1.7
						諸雑費	式	1
仮支点補強材	支圧板、高力ボルト含む	箇所		3		< 1 箇所当たり > 補強材(支圧板、高力ボルト含む)	箇所	1
小規模塗装工	素地調整・下塗り・中塗り・上塗り	m2		3		< 2 m2当たり > 橋りょう塗装工	人	4
						諸雑費	式	1
ひび割れ補修工		式		1				
充てん工法	20m未満ホリマセメント系 【土木補修用充てん材 ポリマ ーセメント系】	構造物		1		< 1 構造物当たり > ひび割れ補修工(充てん工法)	構造物	1
構造物撤去工		式		1				

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
工事名	北伏古南7線橋長寿命化工事			(当初)	事業区分	道路維持・修繕		
					工事区分	橋梁保全工事		
構造物取壊し工		式		1				
コンクリート構造物取壊し 親柱	無筋構造物人力施工	m3		0.4		< 1 m3当たり > 構造物とりこわし	m 3	1
運搬処理工		式		1				
殻運搬	コンクリート殻(無筋)	m3		24		< 1 m3当たり > ダンプトラック運搬(人力積込) 人力積込	m3 m 3	1 1
殻処分	コンクリート殻(無筋) 【コンクリート塊受入費 無筋 30cm程度の大きさ】	t		56		< 1 t当たり > 処分費(t)	t	1
現場発生品運搬	PCB対策物(ドラム缶)	回		1		< 1 回当たり > 現場発生品及び支給品運搬	回	1
現場発生品運搬	旧防護柵	回		2		< 1 回当たり > 現場発生品及び支給品運搬	回	1
現場発生品運搬	旧伸縮装置	回		1		< 1 回当たり > 現場発生品及び支給品運搬	回	1
現場発生品処分	旧伸縮装置	t		2		< 1 t当たり > 産業廃棄物中間処理料金	t	1
橋梁足場等設置工		式		1				

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
橋梁足場工		式		1				
吊足場 防護柵部施工	タイプ F 朝顔・板張・シート張・養生シート	m2		323		< 1 m2当たり > 吊足場 床面シート張防護 朝顔設置 板張防護 朝顔部 シート張防護 朝顔部 養生シート	m2 m2 m2 m2 m2 m2	1 1 1 1 1 1
コンクリートアンカー	足場設置用 【打込み式アンカー M16×63 】	本		90		< 1 本当たり > コンクリートアンカーボルト設置 アイボルト	本 本	1 1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	道路維持・修繕 橋梁保全工事		
						概要		
						現場条件	単位	数量
吊足場 支承部・防護柵部施工	タイプF 朝顔・板張・シート張・養生シート	m2		24		< 1 m2当たり > 吊足場 床面シート張防護 朝顔設置 板張防護 朝顔部 シート張防護 朝顔部 養生シート	m2	1
仮囲い設置・撤去	タイプ	m2		840		< 1 m2当たり > 仮囲い設置・撤去 (Pタイプ) 仮囲い仮設材質料	m 2	1
仮囲い養生シート		m2		266		< 1 m2当たり > 養生シート	m2	1
仮設工		式		1				
環境対策工		式		1				

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
(当 初) 事業区分 道路維持・修繕 工事区分 橋梁保全工事								
工事名	北伏古南7線橋長寿命化工事							
負圧除塵機	30m3/min	台		1		< 1 台当たり > 集塵排気装置 (基本料)	台・回	1
						集塵排気装置 賃料・1ヶ月保証	台・月	1
						負圧集塵装置用1次フィルター	枚	3
						負圧集塵装置用2次フィルター	枚	1
						負圧集塵装置用HEPAフィルター	枚	1
						負圧集塵装置用	枚	1
						負圧集塵装置設置撤去	箇所	1
						負圧集塵装置設置撤去	箇所	1
負圧除塵機	移設時	台		1		< 1 台当たり > 負圧集塵装置設置撤去	箇所	1
						負圧集塵装置設置撤去	箇所	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	道路維持・修繕 橋梁保全工事		
						概要		
						現場条件	単位	数量
真空掃除機		台		1		< 1 台当たり > 真空掃除機 (基本料)	台・回	1
						真空掃除機 (賃料・1ヶ月保証)	台・月	1
						真空掃除機 1次フィルター	枚	1
						真空掃除機用 2次フィルター	枚	1
						真空掃除機HEPAフィルター	枚	1
						真空掃除機用 チャコールフィルター	枚	1
エアシャワー		台		1		< 1 台当たり > エアシャワー (基本料)	台・回	1
						エアシャワー (賃料・1ヶ月保証)	台・月	1
						エアシャワー用 1次フィルター	枚	1
						エアシャワー用HEPAフィルター	枚	1
						エアシャワー用チャコールフィルター	枚	1
クリーンルーム		箇所		1		< 1 箇所当たり > 簡易クリーンルーム	基	1
						クリーンルーム設置撤去	箇所	1
						クリーンルーム設置撤去	箇所	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
工事名	北伏古南7線橋長寿命化工事			(当初)	事業区分	道路維持・修繕		
					工事区分	橋梁保全工事		
クリーンルーム	移設時	箇所		1		< 1 箇所当たり > クリーンルーム設置撤去 クリーンルーム設置撤去	箇所 箇所	1 1
PCB対策物保管容器	ドラム缶200L	本		22		< 1 本当たり > 鋼製ドラム缶	缶	1
直接工事費		式		1				
共通仮設費		式		1				
共通仮設費		式		1				
安全費		式		1				
電動ファン付き全面防毒マスク		個		6		< 1 個当たり > 電動ファン付き全面防毒マスク	個	1
電動ファン付き全面防毒マスク用フィルター		枚		72		< 1 枚当たり > 電動ファン付き全面防毒マスク用フィルター	枚	1
防護服		着		72		< 1 着当たり > 防護服	着	1
シューズカバー		組		72		< 1 組当たり > シューズカバー	組	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	道路維持・修繕 共通仮設費		
						概要		
						現場条件	単位	数量
防護手袋		組		72		< 1 組当たり > 防護手袋	組	1
技術管理費		式		1				
鉄筋探査費(極小規模)上向き	足場設置	m2		0.9		< 0.9 m2当たり > 技師(A) 技師(B) 技師(C) 諸雑費	人 人 人 式	0.5 1 1 1
鉄筋探査費(極小規模)横向き	沓座拡張	m2		3.6		< 3.6 m2当たり > 技師(A) 技師(B) 技師(C) 諸雑費	人 人 人 式	0.5 1 1 1
鉄筋探査費 下向き	防護柵設置	m2		35		< 18 m2当たり > 技師(A) 技師(B) 技師(C) 諸雑費	人 人 人 式	1 2 2 1

工事数量総括表

		工事名	北伏古南7線橋長寿命化工事			(当 初)		事業区分	道路維持・修繕	
						工事区分	共通仮設費	摘要		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	現場条件	単位	数量		
現場環境改善費(率計上)		式		1						
共通仮設費(率計上)		式		1						
純工事費		式		1						
現場管理費		式		1						
工事原価		式		1						
一般管理費等		式		1						
工事価格		式		1						
消費税相当額		式		1						
工事費計		式		1						